

平成 26 年度 境高等学校 第三者評価 評価書

【講評】

境高校では、校訓として『質実剛健』・『文武両道』が謳われ、この校訓に基づき『21世紀に生きる社会人として、生きる力と豊かな人間性を育成する。』との教育方針が示されている。これを受けて、3つの重点目標が定められており、それぞれの重点目標に対して3項目の数値目標が掲げられている。学校のあらゆるプログラムとメニューが校訓を反映し、目標とした数値と比較するシステムとなって機能している。さらには、保護者や地域、境港市、市内中学校の声をアンケート等により吸い上げ、日々の教育活動にフィードバックし、学校ビジョンに反映しているなど、日々の学校教育が有機的に機能している様を実感した。

これは、学校長が掲げた明確なビジョンと、それを裏付けるために発せられた強いメッセージ、そして、それを共通理解している教職員たちの協同作業の賜物である。生徒たちは、いきいきと学校生活を楽しみ、授業や部活動、奉仕活動に、その若いエネルギーを存分に発揮しているように私たちの目に映った。このような環境で学ぶ生徒たちは幸せである。そして、ここから巣立っていく者たちは、生きる力と豊かな人間性を備えて21世紀を力強く生きていくだろう。

各項目についての評価はそれぞれの評価シートのとおりである。

以下は、委員会として評価し、今後も継続・発展していただきたい主な事項である。

- ① 『質実剛健』・『文武両道』の校訓があらゆるメニューに反映されている。これにより、多様な教育課程とクラス編成が可能となっている。
- ② 画一的でなく、一律でもない教育環境整備がみられ、既存の施設やインフラを効果的に活用するためのアイデアがある。
- ③ 図書館や保健室等では、生徒一人ひとりを大切に考える配慮されたメニューを提供している。
- ④ 全ての教職員が「見てすぐ注意・指導」を実践し、より高い規範意識が確立されている。
- ⑤ 英語の多読に取り組んでおり、その成果が出始めている。
- ⑥ 教職員が一体となって進路指導を行っており、体系化されたキャリア教育に取り組んでいる。
- ⑦ 授業アンケート結果では、授業に対する生徒の満足度は高いが、教職員はその結果に満足せず、問題点の検証を行う姿勢は評価したい。

一方、以下は、今後改善していただきたい主な事項である。

- ① 学校の中長期目標（中長期ビジョン）に対する理解が、一部教職員において共通認識に至っていない懸念が否定できない。学校長によるメッセージの繰り返し発信と、日常業務との関連付けにより、全教職員による共通認識を図っていただきたい。
- ② 部活動における顧問の複数担当に、無理が生じているのではないかと懸念が見受けられる。外部指導者の活用もなされているが、余裕のある人的配置も一考の余地がある。
- ③ 特別支援教育について、中学校も含めた関係機関との連携を進めているところであるが、今後の進展に期待する。
- ④ 個人情報取扱要領の周知・徹底、不祥事防止等や法令遵守の取組について、活動内容が不十分な点が見られたため、具体的な改善が行われることが求められる。
- ⑤ 学校のホームページでは、さまざまな情報が提供されているが、運用体制やルールの早急な整備が必要である。